



わどまり 議会だより

第106号

発行 平成22年1月25日 鹿児島県和泊町議会
編集 議会報編集委員会
〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地
TEL (0997)92-2569
FAX (0997)92-3176
ホームページ <http://www.town.wadomari.lg.jp/>



2010年へ力強くスタート！

(新春町内一周駅伝大会)

主な内容

おもな審議事項.....	2
一般質問.....	3~4
要望・陳情の概要等.....	5~8
和泊町議会構成.....	9

町の人口

平成22年1月1日現在

男	3,549人
女	3,718人
計	7,267人
世帯数	3,165戸

平成21年第4回定例会

12月8日から12月11日までの4日間

平成21年度一般会計予算

59億1108万8千円

8756万1千円を追加

白百合土地改良区を積極支援 再建に取り組む



国営沖永良部農業水利事業

なものは、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費（社会福祉費）2758万円及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費（保険体育費）4440万円の増額、奄美農業創出支援事業費（ハード）3485万5千円の減額等の予算措置。

おもな 審議事項

補正予算

◎平成21年度一般会計補正予算（第6号）
歳入歳出予算をそれぞれ8756万1千円増額し、予算の総額を59億1108万8千円とするもの。歳出の主

収入及び支出の支出建設改良費2010万円を増額し、職員給与費283万9千円を増額する予算措置。

◎平成21年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出予算をそれぞれ384千円を増額し、予算の総額を7385万8千円とする。

◎平成21年度和泊町下水道事業特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出予算をそれぞれ495万7千円増額し、予算の総額を2億4518万6千円とする。

◎平成21年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出予算をそれぞれ385万円減額し、予算の総額をそれぞれ2億7741万3千円とする。

◎平成21年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出予算をそれぞれ385万円減額し、予算の総額をそれぞれ2億7741万3千円とする。

◎平成21年度水道事業会計補正予算（第1号）
歳入歳出予算をそれぞれ1680万3千円を増額し、予算の総額を7億6805万8千円とする。

その他

◎鹿児島県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

◎字区域の変更にについて（根折字）

◎字区域の変更にについて（伊延字）

副議長の 選挙について

和泊町議会第23代副議長に和正巳議員が指名推薦されました。和議員は現在3期目、総務文教委員長等を歴任。会社役員64歳

一般質問

平成21年(12月)第4回議会定例会

財源の確保について



泉 秀樹議員

質問 交付税の算定基準に引き続き特殊出生率を組み入れさせることはできないか。

答弁 国においては、平成一九年度から、やる気のある地方が自由に独自の施策を展開することにより、「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方自治体に対し、地方交付税等の支援措置を講じるための「頑張る地方応援プログラム」が創設されている。出生率の向上や行政改革の推進など、成果指標が全国平均以上に向上した地方自治体に対し、普通交付税において割増算定されることになっている。出生率について、本町は成果指標が達成されているが、平成一九年度から基準財政

需要額に反映されており、平成二十一年度においては追加需要額として四一二万七千円が基準財政需要額に参入されている。来年度からの動向については、平成二十一年度の地方財政計画が策定されていない為、不透明なところがあり、行政刷新会議の事業仕分けにお

いて交付税制度についての見直しが出されているが、「頑張る地方応援プログラム」等について具体的な見直し対象とならない限りは、引き続き普通交付税の算定基準に組み入れられる見通しである。地方交付税は地方自治体における最も大きな財源であるので、全国自治体と協同歩調を取りながらその充実、確保について国への要望をつないでいく。

- ① 民主党のマニフェストと本町の財政について
- ② 観光の振興との活性化について
- ③ 子育て支援対策について



盛 泰夫議員

質問 ①平成二十二年度の予算編成のポイントをどこにおいているか。

答弁 防災無線施設の更新や学校教育施設の耐震化等、農業・漁業・商工業の振興及び社会福祉・医療福祉の充実を柱とした政策に取り組んでいく。

②平成二十一年度行財政改革集中プランの取り組み状況はどうなっているか。

答弁 事務事業の再編・民間委託等の推進・定員管理・給与の適正化・第三セクターの見直し・経費節減・沖永良部バス企業団の運営等の改革を進めている。

質問 ①離島航空運賃の軽減に向けた取り組みを、今、全郡をあげて行うべきではないか。

答弁 民主党のローカル

マニフェストに離島航空運賃を安くすると約束している。又、奄振の法律の附帯決議の中に「航空運賃の軽減」が明記されている。この対策については関係市町村と連携を取り全郡をあげて取り組んでいく。



航空運賃の軽減は町民の悲願

②移住・交流促進事業の拡充を図るべきではないか。

答弁 不動産業者や各種団体、支援センター等、民間との連携による「共生・協働定住促進モデル事業」を継続して実施して移住・交流の推進を図っていく。

③両町協力して「えらぶフルマラソン」を実施すべき

ではないか。

答弁 両町観光協会でもマラソン大会の可能性について検討している。その話し合いに参加し、方向性について一緒に考えて取り組んでいく。

②商店街の用途地域の見直しを行うべきではないか。

答弁 見直しについては六月三〇日、商工会の理事会で案の作成を行いました。今後地域の皆さんの動向を考慮して検討を行います。

質問 ①幼保一元化の方向性をどのように考えているか。

答弁 国頭子ども園、和泊保育所と和泊幼稚園の一元化については、地域性や施設の立地等、それぞれの機能を生かした活動がなされておき、一元化は難しく、当面は今の運営形態を維持していく。

②「和泊保育所」と障害者就労支援施設「さねん」の運営についてどのように考えているか。

答弁 和泊保育所については保護者の保育ニーズに柔軟に対応できる民間活力の導入が行われることにより、乳児保育や延長保育の実施、放課児童クラブも設

①水産業の振興について ②白百合土地改良区について ③国の政権交代について ④第五次振興計画について



伊集院 徳二議員

質問 水産業の振興について。

①現在抱えている課題は。

答弁 防漁業従事者の高齢化が進行し、担い手の確保や製氷施設の整備、船溜まりの静穏化の対策が求められている。

②振興策の具体策を次期振興計画の中でどう考えているか。

答弁 漁場の養成、管理や藻場の育成や新しい漁法の研究開発、種苗放流、加工品開発、関連施設の整備、

置されている。社会福祉協議会から、施設の無償譲渡要望書があがっているが、社協と協議をしながら検討していく。

担い手の育成等、中長期的な施策として考えている。

質問 白百合土地改良区について。

①現在の運営状況は。

答弁 組合費だけでは維持管理の捻出もできないほど厳しい財政状況であり、補助金がないと運営が困難な状況である。



白百合土地改良区の現状を説明する内理事長

②改良区と行政の関係を今後どのように考えているのか。

答弁 運営補助金の助成をしながら県や土地改良連合会の支援もいただき再建

に向け取り組んでいく。今後の事業の進め方は現行どおり土地改良区で実施し、新規地区については、町で実施するよう要望がきているので改良区の意向を尊重しながら事業の推進を図っていく。

質問 国の政権交代について。

①本町にどのような影響がでているか。

答弁 子育て応援特別手当事業の全額停止、地域情報通信技術利活用推進交付金事業の減額、農地有効利用支援整備事業補助金等の減額等二千五百八十五万円の影響がでている。

②要請等を通じて、新政権の考え方をどのように捉えているか。

答弁 コンクリートから人へ中央集権から地域主権へ、自民党政権と違い政治家主導の政策形成方針が表れてきたとまさに政治の転換期を実感している。

陳情についても方法が変わり一本化し、地方からの陳情を受付、党本部幹事長

でとりまとめたうえで、各省の政務三役に伝えるという今までと違ったルールが確立された。県においても陳情受付窓口として県与党総合政策会議において、意見調整や政策調整を行い、取捨選択や優先順位を行いたうえで、党本部幹事長室に伝えるということになるので、県町村会や全国町村会と足並みをそろえた陳情活動をしていきたいと考えている。

質問 第五次振興計画について。

①現在の振興状況は。

答弁 集落毎の行政懇談会をはじめ、町民からのアンケート調査や各課からの基礎データの収集、議会の常任委員会がまとめた各種団体との意見書を担当課で施策に反映させる為、検討会を実施し現在その取りまとめを行っている。

今月中に庁舎内検討会や審議会での審議を踏まえて、振興計画を策定したいと考えている。

全員協議会で国政報告する
打越代議士



平成21年12月11日、議会最終日に打越代議士が本町議会を訪問し、全員協議会の中で挨拶をかねて国政を報告しました。前日に沖永良部入りした打越代議士は、文字通り、分刻みのスケジュールの合間をぬって県道の要望現場に足を向ける等、精力的に本町を視察しました。

打越代議士が 国政を報告



県道の安全化を要望する町民

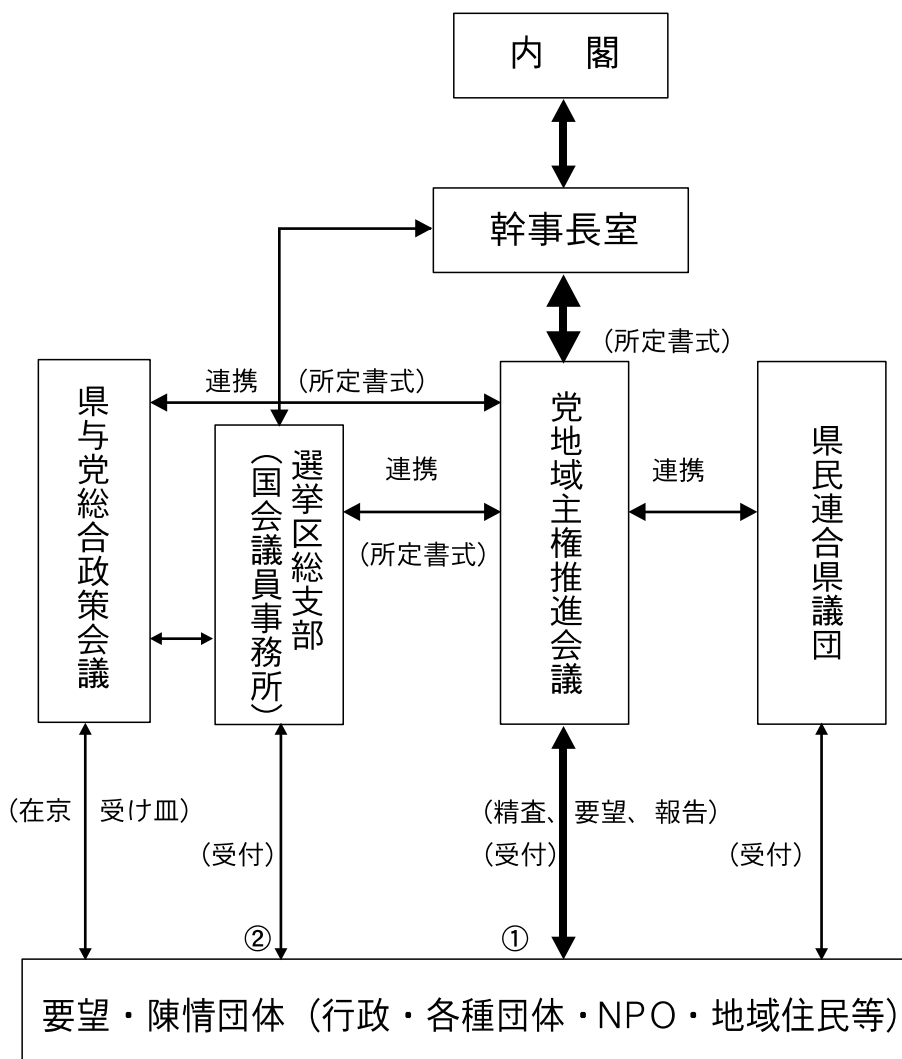


関係者の現場説明に耳を傾ける

打越代議士は国政報告の中で陳情について、「これまで大挙して議員会館や官公庁に出向いた陳情の在り方を廃止し、県民の声をすべて県与党総合政策会議で取りまとめる。」と報告しました。これにより、「陳情団を組む必要もなく、代議士自らが当地へ出向き声を聞くこともある。」と述べました。

陳情の在り方が 変わります

要望、陳情のフロー図



要望、 陳情の 概要

「分権型陳情への制度改革」として①従来の利益誘導の政治や政治家の癒着構造からの脱却②分権型陳情で霞ヶ関詣での一掃③国の行政刷新と地方

行政に寄与④透明性・公平性を確保する陳情処理の4つの柱を目的とする。政策等については、内閣で最終決定となるが、その決定に至る過程での地域の声や草の根の意見を吸い上げ、政府に届けるシステムを構築する。

【フロー図説明】

1. 団体からの要望や陳情は基本的に①のルートで幹事長室へ上がり、経過や結果報告も同様に民主党県連に設置する「党地域主権推進会議」を経由するものとする。
2. ②は鹿児島県各選挙区毎に設置する民主党鹿児島県第〇区総支部を経由するルートである。この種の要望や陳情は選挙区に限定した団体からのものとする。第3区については暫定総支部→民主党県連経由とする。
3. 党地域主権推進会議は民主党県連所属の国会議員、地方議員で構成する。
4. 県与党総合政策会議は県内選出の与党国会議員5名で構成する。
5. 県民連合県議団は鹿児島県議会議員7名（民主1、社民1、無所属5名）で構成する。



故奥 村蔵副議長

平成21年10月30日、 奥 村蔵副議長がご逝去されました。

奥副議長は和泊町議会議員3期目、沖永良部漁業協同組合長等の要職にありましたが、腎臓疾患による入院療養中の急逝でした。享年66歳。

和泊町議会は第5回臨時議会の冒頭、奥副議長の死を悼み、全員で黙祷を捧げた後、前田 力議長が追悼演説を行いました。その全文を掲載します。

追 悼 の 辞

第21・22代副議長、奥村蔵君の死を悼み、本臨時議会において謹んで哀悼の辞を申し上げます。

入院、手術、退院後は健康体になり、あなたの温かな人柄とボランティア精神で議会の為に、町民の為に、一層ご活躍されるものと思いきや、何のためらいもなく送り出し、10月9日には手術は成功だったとのあなたからの元気な報告を聞いて共に喜んでいたものを、あなたはその後報告もなく、一言の声を聞くこともなく、永遠の眠りにつかれました。言いようのない何ともさびしい、悲しい限りであります。

10月29日夜に急を聞き、翌朝急ぎ、病院に駆けつけました。心臓マッサージをしていた為、死に目に会う事は出来ませんでした。あなたのふっくらして赤みをおびた顔は安堵した慈愛に満ちた笑みをたたえ、人にもこのような表情が出来るかと思わせるような素晴らしい表情をしておりました。

その思いを計り知る事は出来ませんが、精一杯生きたという満足感ではと思うところであります。

手々知名字区長、沖永良部漁業協同組合長、他、地域活動、社会活動、政治活動など他分野でのあなたの人間性と献身的な活動、仕事振りは人望と信頼を得、それぞれの分野での存在価値は大変大きく敬意を表しているところでした。

平成12年9月から3期連続和泊町議会議員として当選し、経済建設委員、総務文教員を経験され、経済建設委員長、副議長の要職につかれました。豊富な社会経験と人望、人脈は議員活動にも大きく生かされました。

体の不調のことは一切口にせず、副議長の役を立派に果たしてくれました。心からの感謝を申し上げます。本当に大切な人材、リーダーを亡くしてしまいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、あなたの安らかな永久の眠りをお祈りいたします。

和泊町議会

和 正巳議員が 第23代和泊町議会副議長に就任

ご 挨拶



和 副議長

故奥村蔵副議長の後任として副議長に指名推薦を頂き、大きな決意と自己啓発に努め、議会民主主義を基本に平等と透明性のある議会の健全化運営と役割を果たすために、議長を支えてまいりたいと思います。

我が国においては、政権交代による政治の不透明、さらに世界経済の悪化による景気低迷が続く中、本町においては、二期目の伊地知町政、房村新副町長就任等の新たな体制がスタートしました。「無駄」を省き「財政規律」をしっかりと守り、「住民主導・参加型」の町政運営を目指す行政役割を、議会の立場からの確たるチェック機能を果たしてまいりたいと思います。

本町はあらゆる面において、全国の離島の中でも最も「安心で、元気な町」として評価され、発展を続けてまいりました。それは、「先人」の教えを忠実に守り、実行がなされてきたものだと思います。

私は「和泊町民性」を誇りに「次世代」に伝承する事が役割だと考え、頑張ってまいりたいと思います。

通村幸吉氏・上原 清氏が地方自治部門受賞

第20回和泊町総合褒賞授与式において、議会関係から通村幸吉氏、上原 清氏が晴れの表彰となりました。



通村幸吉元副議長

通村幸吉氏 昭和26年12月9日生(58歳)
和泊町国頭2288

【授賞理由】 昭和63年9月から平成20年9月まで4期16年間の永きにわたり和泊町議会議員として活躍され、その間、副議長、文教厚生委員長、総務委員長等の要職を歴任し、交通基盤の整備や産業経済、住民福祉の向上など本町の自治振興と町政発展に寄与された。



上原清代表監査委員

上原 清氏 昭和13年5月1日生(71歳)
和泊町内城523

【授賞理由】 平成4年9月から平成20年9月まで4期16年間の永きにわたり和泊町議会議員として活躍され、その間、建設委員、文教厚生委員、総務委員長等の要職を歴任し、交通基盤の整備や産業経済、住民福祉の向上に寄与された。さらに、監査委員として行財政の適正化に努めるなど本町の自治振興と行政推進に大きく貢献された。



全員協議会で謝辞を述べるお母さん

「しほの生命を守る会」の募金活動終了

「しほの生命を守る会」の活動は、しほちゃんの永眠を受けて募金活動を終了しました。平成21年12月11日、しほちゃんの母、美佐子さんが議会全員協議会で、善意に対するお礼を述べられました。

御 礼 状

拝啓

師走の候、ご健勝のこと存じます。

この度、私たちの娘・詩穂の命を救うために、皆様方の多大なるご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

八月三十日、医師から詩穂の病気が拡張型心筋症と告げられ、投薬治療を行っていましたが成果が得られず、十月十七日、詩穂を救うには心臓移植しか手立てがないことを知り、まったく想像もしたことのない状態に置かれ、私共も悩みました。

我が子を失いたくないという一心で、米国での心臓移植治療を決心いたしました。この決心ができたのも、友人、知人、が中心となり「しほの生命を守る会」と立ち上げて頂き、島の皆様方をはじめ、全国の数多くの方々に支えられ多大なるご協力があったからこそのことでした。

詩穂は、闘病中泣き言一つ言わず、苦い薬を飲むと「これ、これを飲んだら元気になる」と、自分に言い聞かせ、点滴や採血の針を刺す時も「痛くないもん、一回だけね」と言いながら、小さな体で、本当によくがんばっていました。

一度は危険な状態になり、あと数日かもしれないと言われていたこともありましたが、でも、支援してくださる方々からの、あやうもない気持ちが届いたのだと思います。皆様の気持ちに応えるかのように詩穂は持ち直し、「生きていたい」と必死にがんばっていたのだと思います。

私たちは、ただただ詩穂の回復を信じてまいりましたが、十一月十六日、静かに眠るように天国へと旅立っていきなした。

今でもひまこつと「ただいまー、おなかすいたー」と詩穂が帰ってくるような気がして、でも、詩穂の遺影を見ながらもういないんだ、と複雑な気持ちの中にいます。

この二ヶ月間、詩穂の傍にいてつらい時もありました。本当に移植ができるのだろうかと不安になることもありましたが、でも、皆様方から「がんばれ、大丈夫だからね」「詩穂は絶対よくなるよ」と本当に多くの励まし言葉、優しくさされたとき、何度も支えられてきました。

これから、詩穂が出会わせてくれた人々とのつながりを大切に、同じ病気で苦しんでいる子ども達やその家族のために、少しでも何かお役に立てるよう、微力ながら尽くしてまいりたいと思います。

これから詩穂のことを時々思い出していただけだと嬉しいです。きっと天国でようこんでいると思います。

最後に、これまで私たちや娘・詩穂のために、皆様方からいただきました心温まるご支援と、お寄せいただきました募金に心より感謝しております。この感謝は本当に筆舌に尽くせるものではありません。

本来ならば拝眉のうえ、ご挨拶を申し上げるところですが誠に略儀ながら書面をもちましてお礼申し上げます。

敬具
内山満・美佐子

議会構成が変わりました。 総務文教委員長に豊枝敏勝議員、 副委員長に宮田裕雄議員



豊枝新総務文教委員長

和泊町議会構成

(平成21年12月11日現在)

【議席】

番号	氏名	番号	氏名
1	平 勝美	8	山下 幸秀
2	泉 秀樹	9	豊枝 敏勝
3	永野 利則	10	盛 泰夫
4	谷山健一郎	11	宮田 裕雄
5	赤山 俊彦	12	福山 峯之
6		13	和 正巳
7	伊集院徳二	14	前田 力

【監査委員】

議選監査委員	山下 幸秀
--------	-------

【正・副議長】

議長	前田 力	副議長	和 正巳
----	------	-----	------

【議会運営委員会】

委員長	盛 泰夫	総務文教委員会
副委員長	谷山健一郎	経済建設委員会
委員	伊集院徳二	経済建設委員会
委員	永野 利則	経済建設委員会
委員	豊枝 敏勝	総務文教委員会
委員	和 正巳	総務文教委員会

【常任委員】

役職	総務文教常任委員会	経済建設常任委員会
委員長	豊枝 敏勝	伊集院徳二
副委員長	宮田 裕雄	泉 秀樹
委員	平 勝美	永野 利則
委員	山下 幸秀	谷山健一郎
委員	盛 泰夫	赤山 俊彦
委員	和 正巳	福山 峯之
		前田 力

【各組合議会議員】

沖永良部バス 企業団議員	沖永良部衛生 管理組合議員	沖永良部与論地区 広域事務組合議員
谷山健一郎	永野 利則	平 勝美
赤山 俊彦	和 正巳	泉 秀樹
山下 幸秀	伊集院徳二	宮田 裕雄
福山 峯之	豊枝 敏勝	
	盛 泰夫	

【議会報編集委員】

役職	氏名	所属
委員長	宮田 裕雄	総務文教委員会
副委員長	泉 秀樹	経済建設委員会
委員	永野 利則	経済建設委員会
委員	平 勝美	総務文教委員会

【議会事務局職員】

職名	氏名
局長	石原 茂廣
次長	田原 義仁
書記	芋高 智美

議会傍聴にどうぞ、お待ちしております!!

町議会は年4回の定例会と必要に応じて開く臨時会がありますが、サンサンテレビで放映される一般質問以外にも本会議の議案審査、各常任委員会、全員協議会等の議会活動が活発に行われ、白熱した議論が展開されています。尚一層、議会活動を活性化させる為、町民の皆様には議会を傍聴していただきたいと思います。議会を傍聴することは、皆さんが行政と議会活動を直接知る最も良い機会です。是非、皆さんが選んだ議員の仕事を確かめにおいで下さい。

議会や議会だよりへのご意見を議会広報へ!!

◎皆さんの声を紙上でご紹介させていただきます。議会広報委員会（議会事務局）までお寄せ下さい。

◎本会議の質疑・一般質問等は紙面の都合により要約してあります。詳細は議会会議録を御覧下さい。議会会議録は各議員・役場・議会にあります。

新春書初め大会

正月の風景

消防出初式

成人式

◆編集後記◆

平成二十一年を振り返ってみますと、米国ではチェンジを掲げた民主党のオバマ大統領が、我が国においては自民党に変わり九月から民主党政権が誕生しました。

新政権の下、予算の編成に係る事業仕分けや、陳情の仕方等、新しい手法を取り入れています。

平成二十一年を漢字一字で表現すると「新」が最も多かったようですが、国の内外共に新しく生まれ変わろうとしている今、国民にとっては期待と不安が交錯しているのではないのでしょうか。

私たち議会は、この新しい時代を迎え、行政と一歩離れて二歩離れずの基本に立ち、「産業の育成」「教育の充実」「社会福祉の充実」「生活基盤の充実」に努めてまいりたいと思っています。

(文責 泉 秀樹)

議長	前田 力
議会報編集委員	
委員長	宮田 裕雄
副委員長	泉 秀樹
委員	永野 利則
同	平 勝美